

ササさん

暮らしに幸せ運ぶ

JA鶴岡

2017

October

No.562

10

JA 鶴岡広報誌



特集

平成29年度上期集落座談会

ご意見・ご要望への回答集



もくじ

CONTENTS

③ NEWS & TOPIX

⑥ 特集

平成29年度上期集落座談会

ご意見・ご要望への回答集

⑧ 組合員紹介 / 職員紹介

⑨ Hello Sweet Baby! / わが家のペット

⑩ 園芸情報 / 農業・農政情報

⑪ 共済課からのお知らせ / 料理紹介

⑫ 青年部だより / 女性部だより

⑬ 福祉だより / 理事会開催報告

⑭ クロスワードパズル / ふれあい伝言板

⑮ J A からののお知らせ 編集後記「灯台」



小淀川 松浦
みずき 瑞樹くん (7才)
たまき 環生くん (5才)
あき 碧己くん (2才)

長男瑞樹はのんびりマイペースな癒し系。次男環生はおしゃべり好きのしっかり者。三男碧己は白米大好き、どっしり構えたこれぞ三男坊。家の中はいつも笑い声、泣き声、怒り声が絶えず、騒々しくもにぎやかな毎日です。

三人とも、これからも友達と仲良く遊び、明るく元気に育ってください。

(お父さん：尚宏さん お母さん：和美さん)

組合長コラム

凛として

伝える心

出羽の山脈 織りなす緑
そめて希望の 陽が昇る
水は大地を うるおして
稲穂がそよぐ 庄内平野
豊かな恵み 受けついで
いのち輝く 鶴岡市

この詞は、先日発表された
鶴岡市民歌の一番の歌詞である。
私は、この歌を聞いた時
何故か、込み上げてくるもの
があった。(ただの齡のせい
だと思うが)

水は大地を うるおして
稲穂がそよぐ 庄内平野
豊かな恵み 受けついで

この言葉は正に、我々農業
者が、祖父、父からと代々受
け継いできた心そのものである。
この我々の思いが、市民
歌に込められていることに、
喜びと感動を覚えた。

改めて我々世代も、次の世
代へ庄内平野の美田を残して
いく使命感を感じたところ
がある。

代表理事組合長 佐藤 茂一

J A 鶴岡とJ A 鶴岡農政対

米政策の見直しに関する要請書を鶴岡市に提出

J A 鶴岡とJ A 鶴岡農政対、J A 庄内たがわとJ A 庄内たがわ農政対は8月28日、鶴岡市役所を訪れ、「平成30年産以降の米政策の見直しに関する要請書」を鶴岡市に連名で提出した。佐藤茂一組合長をはじめ、役職員4人が出席した。

平成30年産以降の米政策の見直しについては、具体的な仕組みや必要な関連施策などが明らかにされておらず、生産現場には不安と動揺が広がっている。米の需給と価格の安定は、生産者・消費者双方にとって重要で、行政の積極的な関与と指導のもと、全ての産

地・生産者などが一丸となって需給調整に取り組んでいく必要があることを強く訴えた。具体的には、関係団体が一体となって需要に応じた生産に取り組むため、全国組織の設置を早急にすすめること、水田活用の直接支払交付金の恒久的な措置や、産地交付金の継続など、7項目を政府に対して強く働きかけるよう要請した。

榎本市長は「厳しい状況だが、地域農業に大きく関わるこの問題についてしっかりと国に要請していきたい」と述べた。



榎本市長（右）に要請書を手渡す佐藤組合長（中央）と海藤 J A 庄内たがわ常務（左）



政府への働きかけを訴える佐藤組合長ら。

県 J A 代表者要請集会

水田農業政策の確立訴え

平成30年産以降の米政策見直しを巡り、誇りと希望の持てる水田農業政策の確立に向け、J A グループ山形が開いた代表者要請集会が9月11日に山形市民会館で開かれ、J A 鶴岡の佐藤茂一組合長をはじめ役職員29人が出席した。

J A 山形中央会の阿部茂昭副会長が、①農業再生協議会が機能發揮できる環境の整備②需要に応じた生産に取り組むための全国組織の設置③水田活用直接支払交付金の十分な予算確保と恒久措置化④収入減少影響緩和（ナラシ）対策



誇りと希望の持てる水田農業政策の実現を訴えた要請集会。

の発動基準となる標準的収入の最低基準設定など、政府への7項目の働き掛けを要請した。

同 J A 青年部員で、県農協青年組織協議会の小南賢史副会長をはじめ、4人の生産者代表が意見を述べた。

小南副会長は「青年部では農業への理解と米の消費拡大に向け、子どもたちの食育活動に力を入れている。農業者が需要に応じた米の生産に安心して取り組めるよう、所得向上を図るための財源確保や仕組みづくりが急務だ」と述べた。



生産者代表として意見を述べる県青協小南副会長。



枝豆の共同選別による出荷が開始された。

だだちや豆専門部

枝豆の共同選別を試験稼働

だだちや豆専門部では、農家での枝豆の選別、出荷作業の軽減と生産拡大をめざし、共同選別による出荷を試験的に開始した。

現在は、各農家が選別、袋詰め後、集荷場へ搬入しているが、生産者の高齢化や労働力確保の難しさから共同選別による出荷を試験的に開始。日量500^キが選別可能で、3人の生産者が利用した。

生産者は、粗選別と洗浄、脱水した枝豆を専用コンテナで出荷。生産者ごとに機械で選別後、従業員が手作業で選別し袋詰めして出荷される。

今回の試験稼働で、機械選別と手選別の作業性やコストの検証などを行い、今後の共選事業の具体化を検討してゆく。

登熟や粒肥大促そう

水稻展示圃を巡回

鶴岡地域良質米生産推進協議会は9月6日、生産者ら約50人が参加して管内7カ所の水稻展示圃を巡回。適期刈り取りを呼び掛けた。

県産米新品種「雪若丸」や「つや姫」「コシヒカリ」、密苗圃場などでJA各支所の指導員らが生育を確認。展示圃の概況や各地域の生育状況を説明した。

農業振興センターで作柄状況や適期刈り取りの時期の検討会を開催。庄内総合支庁の佐藤智浩プロジェクト推進員は「出穂後の日照不足で登熟の遅れが懸念される。最後まで登熟や粒肥大を促してほしい。圃場で生育にばらつきがあるので刈り取りの適期を逃さないように」と呼び掛けた。



密苗「はえぬき」の生育状況を確認する参加者。

ネットメロン精算報告会

出荷量減も平均単価前年度超え

9月8日、平成29年度ネットメロン精算報告会を湯野浜温泉「亀や」で開き、ネットメロン専門部員や市場関係者など約120人が参加した。

今年産は出荷数量が大きく減少したが、企画販売の充実や相場高により平均単価が昨年を上回った。会では生育経過や販売経過、精算内容などが報告され、市場関係者からは「熊本や茨城といったメロン産地で生産量が減少し鶴岡産のメロンの需要が高まってきている。天候不順などの情報を発信し、有利販売につなげてほしい」と要望された。

また、高品質なメロンを栽培した生産者と集落を対象に共励会表彰が行われ、集落の部は千安京田が受賞した。



表彰を受ける集落代表の斎藤修一さん。

年金友の会

グラウンドゴルフ大会で交流

9月14日、櫛引総合運動公園で第11回年金友の会グラウンドゴルフ大会を開いた。地区予選を勝ち上がった136人が参加した。

開会式では本間和助実行委員長が「一打に気持ちを込めて、明日への活力となるような元気なプレーを期待する」とあいさつ。

秋晴れの中、大会は8人ごとの組に分かれ、男女オープン個人対抗戦3コース24ホールで競った。ホールインワンを2回たたき出した伊勢横内の阿部重昭さん(75)が、総打数52の好成績で優勝の栄冠に輝いた。上位入賞者は、10月3日に中山町で開かれる県大会に出場する。



ホールポストに狙いを定め、ボールを打つ参加者。



げんき部会員が児童、研修生に稲刈りを指導した。

わんぱく農業クラブ

げんき部会員が稲刈りを指導

鶴岡市と山形大学農学部主催の「わんぱく農業クラブ」が9月16日に開かれ、主に鶴岡市内の小学3年から6年生までの児童約30人が参加、げんき部会員が稲刈りと杭かけ作業を指導した。

参加した児童は、山形大学農学部附属の圃場で、児童たちが5月に植えたもち米を同部会員が指導しながら稲刈りを体験。また、同大学で研修中のJICAの研修員も一緒に指導を受けながら、稲刈り作業を行った。

その後、部会員から稲をかける順番を教わりながら杭かけ作業も体験した。

参加した児童からは「大変で疲れたけど楽しかった」と話してくれた。

自倉庫の入庫が始まる

29年産米の入庫状況

29年産米の入庫が9月22日から始まり、JA大泉倉庫では大泉、湯田川、田川地区から主食用米、需給調整米などが運び込まれ、検査員がパレットに入れられたサンプルの水分や形質、整粒歩合を検査、格付けした。

佐藤博検査員は「乳白粒やカメムシなどの被害粒も少なく、品質は良好」と話した。

今年産米は、出穂後の日照不足で品質が心配されたものの、10月5日現在までの管内の検査状況は1等米比率がうるち米で97.2%と高い状況となっている。



パレットに入れられたサンプルを検査する検査員。

平成29年度上期集落座談会

ご意見・ご要望 への回答集

9月4日～13日の期間、集落座談会を開催しました。

皆様より頂いたご意見・ご要望について、主なものを抜粋して掲載します。

由良会場

平 成30年以降コメの生産調整についてJ A鶴岡はどのように対応していくのか？

平成30年から国は、従来の生産数量目標の配分を廃止し、国内需要量の情報等の周知をしていくとしています。このことから、生産現場では、生産過剰による米価の下落、所得減少への懸念があり、これらの懸念を払拭し、将来にわたり意欲を持つて稲作経営を行っていくには、今後とも、米の需給と価格の安定に向け、生産者、農業団体、行政が一体となって需要に応じた生産を行うことが必要と思われます。

このため、J A鶴岡としても山形県農業再生協議会および鶴岡市農業振興協議会の方針に則り、平成30年産については、生産数量目標面積に替わる「生産の目安」を生産者に示し、米の需給バランスを確保するとともに、その対策としての各種の誘導策を講じ、生産者の所得確保を目指すための米の生産調整を行うこととしています。

また、31年産以降については、販売環境や他県他町村他J A等の動向も見据えながら、決定して参ります。

共 乾施設の再編について、どのようになるか教えてほしい。

平成29年からの第11次地域農業振興運動計画の重点対策にある通り、生産性の高い農業をめざす効率的営農の確立のため、共乾施設については、施設の再編について利用組合と検討を進めております。このことは、各施設ごとに実需に基づく品種構成により販売に直接結びつく鶴岡産米の生産や、各施設の経理の一元化、農協経営方式への運営方法の変更等、効率的な施設運営を目指すものです。

鶴岡産米においては、特に、主力のはえぬきについて品質、食味、更に必要数量の確保を求められており、共乾施設においてはそれらが更に均一化された鶴岡産米として高い評価を得ることにより、生産者の所得向上につながるものです。

近年、個々の施設における修繕費の増大等、将来的な施設運営への懸念から、運営方法を含めた再編について施設側からの要望もあり、共乾施設連絡協議会の代表者会議を経て、各施設の三役会議、理事会、総会で、その経緯について説明を行っています。今後、各施設に対し、

再編する場合の具体的な施設運営方法等を示しながら、各施設の意向を十分伺いながら協議を重ね進めて参ります。

また、合わせて米の保管倉庫の改築、新築等において集荷（検査）・保管の効率化による流通コストの低減、販売機能の強化を進めることによる鶴岡産米の持続可能な生産体制を検討して参ります。

輸 出用米について教えてほしい。

平成28年産米は輸出用米として2502・0俵を全農経由でシンガポールへ輸出しましたが、平成29年産米については、需給調整米の生産者手取りをより確保するために、輸出用米から備蓄米に変更して出荷します。



遠賀原会場

米 の精算方法について、概算精算を継続していくのか。また、買取り販売の考えはあるのか。

概算精算（概算金の設定）方法は、当面継続して参ります。但し、概算金の単価をより精査し、最終精算を見据えた金額としての入庫検査時支払い概算金を設定して参ります。また、品種別精算、販売先別精算等生産者の所得向上に繋がるような販売方法を検討して参ります。

種 子法の廃止に伴い、種子の価格が上がると考えられるが農協では対応策を考えているのか。

主要農産物種子法は、稲・麦・大豆の種子について都道府県が普及すべき優良種子等を指定し、原種及び原原種の生産、審査等をおこなうことを義務づけるものですが、国は民間企業の種子開発を促進することを目的として本年4月に廃止を決定しました。

都道府県は、この種子法を根拠として公費を投入して品種開発や奨励品種指定及び普及してきたと思われます。

一方、これまでも民間企業は水稻種子の開発を行っており、つくばSD1号などもその一つ

です。

JAとしては、組合員の所得増大につながる販売戦略として活用すべきものは活用しつつ、国、県には種子法廃止後も継続的かつ安価で民間企業に劣らない優良な品種開発を継続できるような体制及び予算措置を求めて参ります。

だ ちや豆の共選はどのように稼働するのか。

枝豆生産の維持・拡大をめざし、枝豆共選事業の具体化に向けた試験段階として、今年度は手選別と機械選別の比較試験に取り組みました。今後試験結果を検証し、事業内容を検討して参ります。

デ イラーでは、車検を受ける際にオイル交換の無料サービスがあるらしいが、JAのサービスはどのようなものがあるか。

車検割引サービスとして、エンジンオイル交換ファミリー割引ということで、年間2台目以降の車は何台でもエンジンオイル交換無料となっています。また、その他にも持込・引取割引、少走行割引、新車初回割引、購買会会員特典に、この夏からネット早期割引も始めました。車検以外でも様々なサービス商品



田川会場

がございましたのでお問い合わせご利用をお願いします。

J A鶴岡ビル（旧ジブラルタ生命鶴岡ビル）への不動産センターの店舗移転と本所移転について。

不動産センターは、JA鶴岡ビル（旧ジブラルタ生命鶴岡ビル）1階に10月10日移転し、店舗内に旅行センター駅前店として旅行窓口も併設しました。尚、大泉の旅行センターは継続して営業いたします。

本所については、平成31年度を用途に同ビルへ機能を移転し、その後、解体を予定しております。JA鶴岡ビル（旧ジブラルタ生命鶴岡ビル）は、本所が耐震基準を満たしておらず、改修を検討していたがジブラルタ生命よりビル売却の打診があり、本所敷地と隣接していることから購入いたしました。

組合員 紹介

私の思い・みなさんに伝えたい!!

失敗と260g。そして面積拡大へ



大瀧 亮さん
向町

私は大学を卒業した後、農業を継ぐために実家の大山に帰ってきました。主な作物は米とだちや豆です。今年で2年目になり、機械全般の操作を任されるようになりました。田植え機の爪を折ったり、トラクターの後ろのガラスを割ったりなどの失

敗もしました。これからはもうと思います。それでもめげずに頑張りたいです。

だだちや豆の収穫時期は特に忙しいですが、今は面積もそれほど多くなく、父の判断の下にやっているのが無事にこなせています。袋詰めでは一袋260グラムぴったり入れる挑戦をしています。くだらないことです。モチベーションが上がります。どの作業も一年ごとに成長を感じられるのでとても充実しています。

これからは栽培面積の拡大を目標に、農業の発展に貢献できたらと考えています。

女性部の思い出



三浦 志保さん
ハツ興屋

私が女性部に入ったのは30代の頃でした。友人から手芸サークルに誘われたのがきっかけだったと思います。その当時は地区ごとに支所があったので、部員は今言うママ友や若妻会のメンバーでした。支所の2階に集まっておしゃべりしていたこ

とが懐かしいです。

近年は役員を担当することになり、様々なイベントに参加する機会が増えました。つるおか大産業まつりでは大鍋で豚汁を作り大声で客寄せをしたり、女性フェスティバルの時には皆で「美味しいつるおか100歳弁当」を約300食分作ったりと多くの行事を通して、役員同士の親睦を深めることができたことは本当に良い思い出です。研修会で進行係を担当した時のものすごい緊張感も今では良い思い出です。

これからも、楽しく女性部の活動に参加したいと思っています。

職員 紹介

チャレンジ



佐藤 育子さん
大泉支所 融資係

大泉支所の融資係に配属になりあつという間に3年目になりました。

組合員の皆さま、周りの方々に支えられ、たくさんのことを教えていただき大変感謝しております。3年前は初めての仕事内容に四苦八苦しましたが、今では迅速かつ丁寧を心掛けながら、組合員の皆さまのご相談にできるだけ応えられるように努めております。

融資の相談に限らず、「分からない事があつたら農協のあの人!」とご指名が入るようにお手伝いできればと思いますので、今後とも宜しくお願いします。

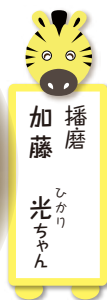
私生活では、小学2年生になる息子とサイクリングに行っています。去年は乗れなかった自転車に身軽に乗っている姿を見ていると、成長しているんだなと感じます。私も負けないように、いろんな事にチャレンジして成長していきたいと思っています。



平成29年2月生まれ

父：公平さん 母：香里さん
(政治さん、吟さんのお孫さん)

あかちゃんの写真を広報に掲載しませんか？
お孫さん・お子さん、自薦他薦は問いません。
ご希望の方は、お気軽に総合企画課までご連絡下さい。
きっと、良い記念になりますよ！



平成28年10月生まれ

父：淳二さん 母：まどかさん
(義弥さん、美恵さんのお孫さん)



平成28年11月生まれ

父：拓さん 母：奈緒子さん
(兵一さん、美和子さんのお孫さん)



写真掲載のご希望は総合企画課 ☎33-8179 までお気軽にご連絡下さい。



わが家の
ペット



とにかく食べるのが大好きでとても元気なモカくん♪

おなまえ モカ

飼い主 菅原 有沙さん (地区 勝福寺)

品 種 ミニチュアダックスフンド

飼い主に危険を感じたらすぐに助けしてくれる家族想いな子です！

モカくんはこれからも家族に笑顔をあたえてくれること
でしょう！長生きしてね♪

家庭菜園

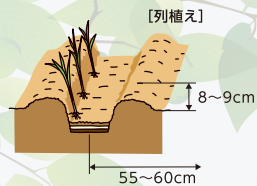
あなたもチャレンジ!



板木技術士事務所 板木利隆

タマネギ苗の上手な植え付け

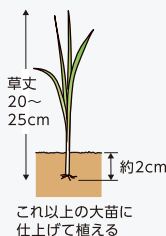
9月に種まきしたタマネギ苗は、10月下旬から11月が植え付けの適期です。5〜6mm径に太り、葉がしっかりし、根がたくさん付いた苗を選びましょう。最近では3号ポリポットにじかまきし、十数本立てにしたポット苗も出回り始めました。鉢土を外し、根がしっかりと付いた状態で植え付けられるので、お買い得です。タマネギは、真冬に入るまでに十分地中に根を張らせ、春には勢い良く育つようにすることが大切です。そのためには元肥を適切に施し、特にリン酸成分（溶成リン肥や過リン酸石灰）を欠かさずに。火山灰土壌では多めに与えておくことが大切です。根の性質が野菜の中では特異的で、通気性の良さを好まず、乾燥を嫌うので、元肥に堆肥は与えず、植えた後は根元を強く鎮圧しておくことが大切です。油かすや魚かすなどにはタネバエが卵を産み付け、幼



溝に元肥を施し、少し覆土して植える



株元を強く踏み付けておく



これ以上の大苗に仕上げて植える

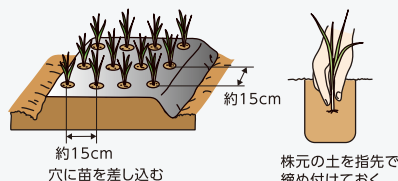
【マルチベッド植え】



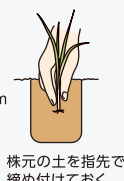
穴開き黒色フィルム



深植えしないように



約15cm
穴に苗を差し込む



株元の土を指先で締め付けておく

虫が根元に食い込む被害が出るので、与えないでください。植え付け方法には、8〜9cmほどの深さの植え溝を55〜60cm間隔で作り、化成肥料と過リン酸石灰などを施して土を掛け、並べて植える列植え方式と、肥料を畑全面に20cmほど耕し込み、幅90cmほどのベッドを作り、植え穴の間隔が15×15cmぐらいの黒色ポリフィルムを敷き、その穴に苗を押し植えるマルチベッド植えがあります。列植えは一定の深さに溝を付け、苗を同じ深さにそろえて植えるので、植え付け作業が速く苗の姿勢が良く、株元の踏み付け鎮圧がしやすいです。また生育後期に、列間に後作（インゲンマメ、ラッカセイ、シヨウガなど）を作付けすることにより、畑の高度利用ができます。一方のマルチベッド植えは、地温を高め、乾燥を防ぎ、雑草を抑止し、肥料の減亡を少なくする効果があります。ただし植え付け、株元の鎮圧には手間がかかります。植え付け作業のポイント、苗床から苗を抜き取る時、乾いていたら灌水（かんすい）し、苗の大きさをそろえ、できるだけ根を付けて抜き取り、植えるときは根を下方に向けて深く入るよう植えることです。ベッド植えでは木製の穴開き道具を作り、きちんと植え穴を作り、根を下方に向けて深さをそろえて植え、株元を指先で押さえ締め付けておきます。植え付けの深さは根の上に土が2cmほど掛かる程度に。緑葉の部分まで土が掛かるのは深過ぎで、後の育ちが良くありません。※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JA鶴岡発信

農業・農政情報+



強風・雪害対策はおはやめに！

稲刈りも終わり秋も本格化してきました。冬支度にはまだ早い時期ですが、強風や雪害対策は事前対策が非常に重要です。以下の点をはやめに点検し、強風・降雪に備えましょう。

- ・被覆資材に破損箇所があると雪が滑落しにくくなるため降雪前に重点的に見回り、補修は早めに行いましょう。
- ・パッカーやアンカー等、基本的な強風対策資材を確認して補強が必要な場合は補強をしましょう。
- ・雪害対策には以前広報で紹介しました資材スノー（図）による補強も効果的です。

ハウスの補修やスノー

ポーを活用する際は、園芸用パイプハウス長寿命化対策支援をぜひご活用ください。詳しくは園芸特産課（☎29-12828）または生産資材課（☎25-6622）までお問い合わせください。



「スノーポール」

【使用可能部材】

横パイプ：φ19.1mm〜φ31.8mm

縦パイプ：φ12mm〜φ20mm

変径パイプ：φ38.1mm〜φ48.8mm

※変径パイプは、変径部分にスノーポールを固定できません。

※変径パイプは、変径部分にスノーポールを固定できません。

※変径パイプは、変径部分にスノーポールを固定できません。

※変径パイプは、変径部分にスノーポールを固定できません。

※変径パイプは、変径部分にスノーポールを固定できません。

共済課からのお知らせ<税務編>

税金のご案内

1 生命共済契約者と満期共済金受取人との関係例

例	ご契約例		税金の種類
	掛金負担者 (共済契約者)	受取人	
1	 (父)	 (父)	所得税・住民税
2	 (父)	 (子)	贈与税

2 生命共済契約者と生命被共済者と死亡共済金受取人との関係例

例	ご契約例			税金の種類
	掛金負担者 (共済契約者)	被共済者	受取人	
1	 (父)	 (父)	 (子)	相続税
2	 (父)	 (子)	 (父)	所得税・住民税
3	 (父)	 (子)	 (母)	贈与税

(注)例3の場合、契約者の名義が(子)であっても、掛金負担者が(父)であれば(母)が受け取った死亡共済金は贈与税の対象になります。

3 建物共済については、契約者と掛金負担者が違う場合は単年毎の掛金額が払込み時に贈与税の対象となります。

4 建物共済については、契約者と満期受取人が誰であるかにかかわらず、所得税・住民税の対象となります。

5 平成30年1月より共済契約について契約者変更があった場合は、変更前と変更後の契約者別の掛金額を税務署に報告しなければならなくなりました。
共済期間中の掛金負担者が変更となった場合、原則として負担割合で按分し、変更前・変更後の契約者の課税関係が判断されます。

詳しくお知りになりたい方、または気になる方は早めにJA窓口にご相談くださるようお願いします。



※料理レシピのインターネット上への公開は認められていないため、本誌のみでの公開となります。

各小学校で稲刈り体験

青年部の盟友が先生役で丁寧に指導

今年度も収穫の秋を迎え、管内各所の小学校で稲刈り体験が行われました。

斎小学校では9月11日、5年生20人が学校近くの三浦直樹さんの田んぼで稲刈りを体験しました。

青年部南支部と農家の指導のもと、5月に植えた稲を鎌で収穫。同校では、食農教育の一環として、毎年田植えから稲刈りまでの稲作を学んでいます。鎌を使って1株ずつ丁寧に刈り取った後、杭（くい）掛けも体験しました。

児童からは「手作業で稲を刈り取っていくのが大変だったが、楽しかった」との感想が聞かれました。

9月26日には西郷小学校と湯野浜小学校の2校が合同で、10月5日には京田小学校で、青年部盟友の指導のもと稲刈り体験を行いました。みんな楽しく作業を行っていました。

これからもおいしいお米をたくさん食べて、元気に育ってほしいです！



青年部員に鎌を使った手刈りを教わる児童。
(京田小学校)



みんなで協力して、刈取りました。
(西郷小学校と湯野浜小学校)



青年部員に教わりながら杭掛けを体験する児童。
(斎小学校)

女性部ふれあい研修会を開催



女性部だより

9月15日、東京第一ホテル鶴岡で「JA鶴岡女性部ふれあい研修会」をフレッシュ・輝き・虹の3部会合同で開き、141人の部員が参加しました。

小林絹井女性部長は「これから稲刈りが始まり、一段と忙しい時期を迎えますが、本日は工藤あやのさんのコンサートと地元食材を使ったおいしいディナーを大いに楽しんでください」とあいさつしました。

第1部のコンサートでは、山形市出身の歌手・工藤あやのさんをお迎えし、最新曲「恋ごよみ」をはじめ、曲中に掛け声のある「故郷さん、あいたいよ」といったオリジナル曲の他、森昌子さん



伸びやかな歌声で部員を魅了。

の「越冬つばめ」などを披露。参加者からは「懐かしい歌ばかりで一緒に口ずさんでいました。歌はもちろんトークもとても上手で、とても楽しい時間を過ごさせてもらいました」との感想が聞かれました。

第2部「秋の味覚・地産地消ディナー」では、JA鶴岡管内で生産された野菜をふんだんに使った料理がふるまわれました。参加者は部員同士の交流を楽しみながら、地元産食材のおいしさに舌鼓を打っていました。



地産地消料理を楽しんだ。



福祉 ホッとNEWS

ショートステイ愛あい館



介護認定を受けたけれども、
これからの季節、一人の生活が
不安なときは
是非ご相談ください。



本間生活相談員

ショートステイ愛あい館は、要介護・要支援になっても、日常生活のお手伝いをさせていただくことで、自宅での生活が続けられるようにする介護サービスの一つです。

それはご本人だけでなく、介護されているご家族の負担を軽くすることを目的とした施設です。皆様の生活に応じたご利用方法をケアマネージャーと一緒に考えさせていただきます。



お問い合わせは、ショートステイ愛あい館 ☎0235-64-0605 まで

News from welfare ● 福祉だより ●

(キリトリ線) ✂

郵便はがき

9 9 7 - 8 7 9 0

鶴岡市日吉町3番7号

JA鶴岡

「組合員の声」係 行き

「ふれあい伝言板」係 行き



※差し支えなければご記入ください

お名前(フリガナ) 年齢 性別 男・女

ご住所 〒

お電話番号 () - 希望する・希望しない

※ポストに投函されるが、下記の無料ファックスダイヤルまで送信下さい

(無料ファックスダイヤル) 0800-800-5090

理事会開催報告

2017.9.29 開催

- 第1号議案 山形県随時検査結果に対する改善状況報告について
- 第2号議案 上期集落座談会の意見・要望に対する回答について
- 第3号議案 育児休業法等に関する規程の一部変更について
- 第4号議案 大口貸出(茅原北土地区画整理組合)の貸付承認について

以上の全議案を慎重審議の上、全て原案通り議決されました。

料金受取人払郵便

鶴岡局承認

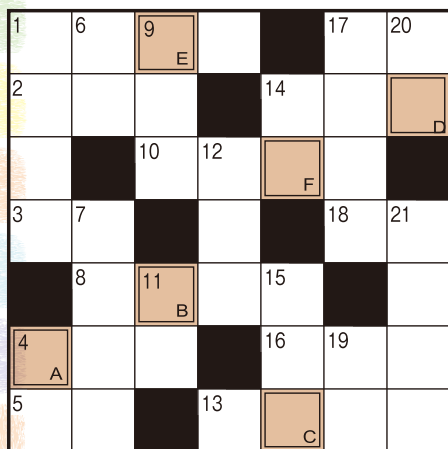
45

差出有効期限
平成30年4月
14日まで

(切手不要)

Crossword Puzzle

色付きマスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉はなんでしょう？ 締切は11月6日。どしどしご応募下さい！ 正解者の中から抽選で5名様に、1,000円分の『JA鶴岡お買物券』をプレゼント！ ご応募お待ちしております！



先月号の答え

アキマツリ

タテのカギ

- 1 きこのこの軸の一番下の部分
- 4 数え年70歳の祝い
- 6 三人寄れば文殊（もんじゅ）の——
- 7 雄ライオンの顔の周りに生えます
- 9 東の空が白んできます
- 11 怒ったときは立て、覚悟したときはく
くります
- 12 自宅へと帰る道のこと
- 14 たいたたりもんだりしてほぐすことも
- 15 五輪では3位までに入るともらえます
- 17 美術館の中を——に従って進んだ
- 19 坂本龍馬の出身藩
- 20 古びたくぎに生じること
- 21 あることに熟練した人のこと

ヨコのカギ

- 1 ギンナンがなる木
- 2 分け合うこと。ルーム——
- 3 東を向いたときに左手にある方向
- 4 平均より体格がコンパクト
- 5 目玉焼きの目玉になります
- 6 ——に簡単な問題を解いた
- 7 自転車を使って行う公営競技
- 8 生まれ育った土地のこと
- 9 運命の赤い糸が結ばれているかも
- 10 後醍醐天皇は鎌倉幕府の——をもくろ
みました
- 11 海外旅行で睡眠不足になる一因
- 12 漢数字の大字だと、1は「壹」、3は
「参」、——は「陸」

「田川新そばまつり」を開催します

毎年多くの皆様が訪れる人気の「田川新そばまつり」が今年も開催されます。新そばの試食、そば打ち体験、そば粉・焼畑赤かぶ漬など田川の特産物販売を予定しております。是非、足を運んでみて下さい。



開催日 11/3(金・祝日)

時間 10時~14時

会 場 田川コミュニティセンター



お問合せ先

JA鶴岡田川支店
☎35-2011

ふれあい伝言板・
組合員の声
応募用ハガキ

JA鶴岡ではよりよいサービス提供のため、皆様の声を大切にしています。皆様の声の窓口として、「組合員の声直通便」ハガキをご用意いたしましたので、このまま切り取ってぜひご利用下さい。

また、このハガキはクロスワードパズルの応募用、ふれあい伝言板への投稿用にもお使いいただけます。

クロスワードのこたえ

■正解者の中から、抽選で5名様にJ A 鶴岡事業利用券をプレゼント致します。『組合員の声』のみのご利用の場合、記入なさなくても結構です。

ふれあい伝言板

■広報に対するご意見、ご感想のほか、誰かに伝えたい・聞いてほしい話などなんでも結構です。皆様のあたたかいお声をお待ちしています。

組合員の声 直通便

■ J A 事業に対する皆様の声をお聞かせ下さい。頂いたご意見は匿名にて広報へ掲載させて頂く場合があります。

[illegible]

平成29年度下期人事異動のお知らせ

次の通り人事異動を行いましたことをお知らせ致します。

発令 平成29年10月1日

新 任	氏 名	旧 任
機械燃料部 自動車燃料課 整備係	三ツ澤 智	機械燃料部 西郷センター 整備係
経済部 生活課 旅行センター駅前店 業務チーフ	土 田 由紀恵	経済部 生活課 旅行センター 業務係
経済部 生産資材課 事務係	吉 川 あゆみ	経済部 福祉課 事務係
経済部 福祉課 事務係	百 瀬 久美子	経済部 生産資材課 事務係
機械燃料部 自動車燃料課 中央SS 給油係	本 間 正 雄	機械燃料部 自動車燃料課 南部SS 給油係

平成30年用生産資材予約 申込書提出期限のご連絡

- ① 堆肥配送散布申込書
- ② 鶴岡コンポスト（バラ）申込書
- ③ 土づくり・パワーマット申込書

以上の申込書の提出期限が過ぎております。まだ提出していない方はお早めにご提出下さるようお願い致します。

予約配送肥料の「置き場所」 のご準備をお願いします。

皆様にご予約いただいた平成30年用肥料を左記日程で配送しますので、置き場所のご準備をお願いします。

10月：土づくり資材・パワーマット

11月：水稲肥料

12月：園芸肥料・水稲育苗培土

【お問い合わせ先】

生産資材課

0800-800-6006

「期限切れ農薬」及び「農薬空容器」の回収について

「期限切れ農薬」及び「農

薬空容器」の回収を10月下旬に実施致します。

今月号へ処理依頼書を折込しましたので、処理をご希望される方は回収実施日に処理依頼書と印鑑をご持参願います。尚、処理料金は後日「口座振替」とさせていただきます。

【お問い合わせ先】

生産資材課

0800-800-6006

農業機械各工場 土曜休業のお知らせ

農業機械課各センター・工場を、左記内容で土曜休業とさせていただきます。

● 期間

11月～30年2月末日

● 対象

中央センター、南部工場、北部工場、西郷センター

● 定休日

土曜日、日曜日、祝日

平成30年植付予約種子 馬鈴薯配送のお知らせ

ご予約いただきました種子馬鈴薯を、11月下旬より配送致しますので、到着後はすみやかに開封の上、気

温が上がらない通気の良い場所へ保管願います。

また、事故処理に必要となる合格証票は、必ず保管願います。

※作柄不良により申込数量を調整させて頂く場合がありますので、ご了承願います。

アグリ21

農業簿記パソコン講座

「青申65万控除講習会」

参加者募集

● 期日 ①12月12日（火）

②12月15日（金）③12月19日（火）全3回講座

● 会場 JA鶴岡 農業振

興センター 2F研修室

● 時間 19：00～21：00

● 定員 5名程度

● 受講料 6000円

● 締め切り 12月5日（火）

● 申込方法 JA鶴岡の各支所・支店においてある申込用紙に必要事項を記入の上、各支所・支店・農業支援室に提出してください。

あるいは、農業支援室に直接Faxでお申込みください。

● 連絡先 JA鶴岡農業支援室

☎ 29-0455

Fax 29-0422

灯 台

今年も早いもので稲刈りが始まりました。昔から米は八十八回の手がかかると言われますが、今では農薬などの進歩と農機具類の発展で昔のような手間はなくなりました。

しかし、どの段階の仕事でも生き物相手の仕事なので稲が何を必要としているのか常に観察し稲と話し合いながらの仕事となるのです。親から教えられた稲作りに農協の指導員にも耳を傾け、苗作りから収穫まで一貫して自分の稲作に精を出している所です。

五十歳過ぎた頃より、兼業農家で縁のなかった農業関係の役員を命じられ、日々田んぼと共に格闘しています。

同じ境遇の皆さん、共に頑張しましょう。

広報委員 小松 重二

（上郷）

